

リテールテックを実現する ローコード開発&業務プロセス改善



流通・小売業界の概況

顧客の要望やニーズが素早く移り変わる現代において、流通・小売業界でも様々な対応が求められています。その中でもデジタル変革（DX）が求められる際に重要になってくる要素が以下の3つです。

オムニチャネル化



実店舗で販売促進をするのみでは不十分で、ECサイト、SNSなど様々な形態での販売や広告展開が一般的になっており、顧客との接点が多様化しています。

すべての販売経路で商品管理や顧客管理、物流を含めた全てのプロセスを統合して管理し、顧客に「より質の高い購買体験」を提供する必要があります。

消費者ニーズの多様化



消費者は情報通信やSNSの発達によって趣味嗜好が多様化しており、膨大な情報から商品やサービスを取捨選択しています。

流通・小売業界では、需要の少ない製品も含めて在庫を安全に保持し、全体の売上を確保するロングテール戦略を実行するなど様々な観点から戦略を練る必要があります。

人手不足



厚生労働省によると、労働力の中核を成す15歳以上65歳未満の生産年齢人口は1990年代をピークに減少傾向にあり、小売業界では2019年の有効求人倍率は全職種に比べて2.58倍と高く、労働者が足りていない現状がわかります。

そのため、長時間労働が強られる職場環境があるなど社会的問題になっています。

流通・小売業界の課題

消費者の顧客体験（カスタマーエクスペリエンス）や従業員の労働環境の改善・向上を実現するためにはデジタル変革が不可欠であり、流通・小売業界の業務システムや業務プロセスにおける以下のような代表的な課題を解決する必要があります。

課題1：在庫量の正確な把握



需要予測が難しい商品は適切な在庫量を保管することが難しく、欠品や過剰在庫が発生して損失を防ぐことが困難となることがあります。リアルタイムに在庫を把握したり、過去の在庫データから適切な在庫量を導き出したりといったシステムが導入出来ておらず、実在庫とデータ上の在庫を合わせるために苦労されている現場もあります。

課題2：複数のEDIの利用



取引先の増加や取り扱い商品の増加に合わせて、必要なEDIサービスが増えてしまい、受発注データの形式を合わせる作業でコストが増えてしまう場合があります。

特に流通業界では「流通BMS」の導入のための対応に追われる流通業者が増えています。

※EDI（電子データ交換：Electronic Data Interchange）
※流通BMS（流通ビジネスメッセージ標準：Business Message Standards）

課題3：物流リソースの適正配分



必要最低限の人員配置や配車計画は出来ており、配送単価や作業単価などの計算もシステム化はされているが、仕入れ価格の上昇などといった様々な原因や予想を立てたリソース計画が策定出来ていない、といった企業も多いでしょう。現場のプロセスやデータをデジタル化して物流業界に活かすための、「物流DX」「デジタルツイン」といった業界トレンドキーワードも多くなってきています。

課題1：在庫量の正確な把握

適切な在庫量を維持するため、商品の在庫数を正確に把握する必要があります。しかし、複数店舗や拠点を抱える場合、各自で異なるルールや利用しているツールが異なる可能性があります。極端な場合、商品ごとに管理を最適化した結果、異なる在庫管理システムを導入している場合もあります。



個別最適を行った結果、システムごとにデータの不一致が生じる可能性も・・・

Accel-Martでは複数システム間のデータ連携処理を実装することが可能です。



複数のシステムをリアルタイムに連携できる基盤

利用している在庫管理システムやツールはそのまま、大幅なシステム刷新をすることなく正確な在庫数を連携して運用を継続可能です。さらに、複数のシステムにまたがった在庫データや販売データの流れを一元管理して大量のデータを保管しておくことで、AIを用いたデータ分析が可能になり、データを活用した経営基盤を強化することも可能になります。

Accel-Martで在庫データ連携

クラウド型システム共通基盤「Accel-Mart」はクラウド上で稼働するシステム基盤で、様々なシステムとの連携が可能です。様々なクラウドサービスとのデータ連携ツールとして活用可能なだけではありません。連携したデータを可視化したダッシュボードを作成して、BI（ビジネスインテリジェンス）ツールとして活用出来るなど、様々な可能性を秘めたシステム基盤です。

従来のシステム間連携では…

- ・各システムへの連携毎にコーディングが必要
- ・新たな連携のリリースに伴ってシステムが停止
- ・各システムからの同時更新によるエラーが発生

Accel-Martなら！

- ・ ビジネスロジックの再利用が可能
- ・ システムを停止させることなくリリース可能
- ・ 更新順序をシステムで自動制御できる

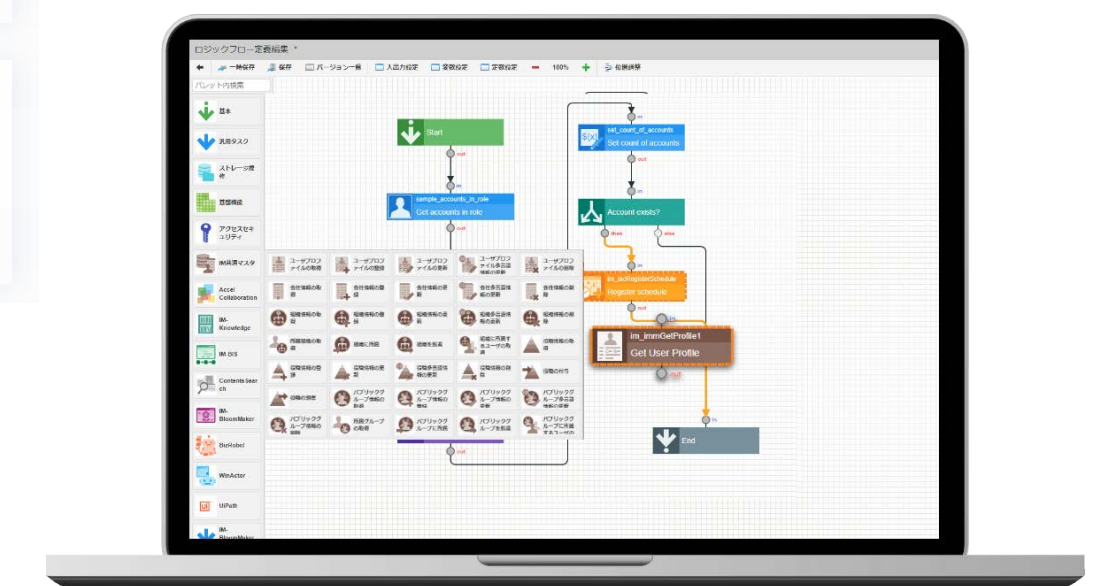
＼ 業務に対応できる柔軟な拡張性 ／

IM-LogicDesignerは、Webブラウザ上でビジネスロジックを簡単に作成できるローコード開発機能の一つです。いままでコーディングが必要だったビジネスロジックをフローチャートのようにパーツを配置して作成できます。



ユーザの作成やログの出力など、intra-mart内の様々な機能と連携できるパーツを組み合わせるため、ユーザの作成やワークフローの申請、承認などを一つのビジネスロジックとしてまとめて実現可能です。

LD IM-LogicDesigner



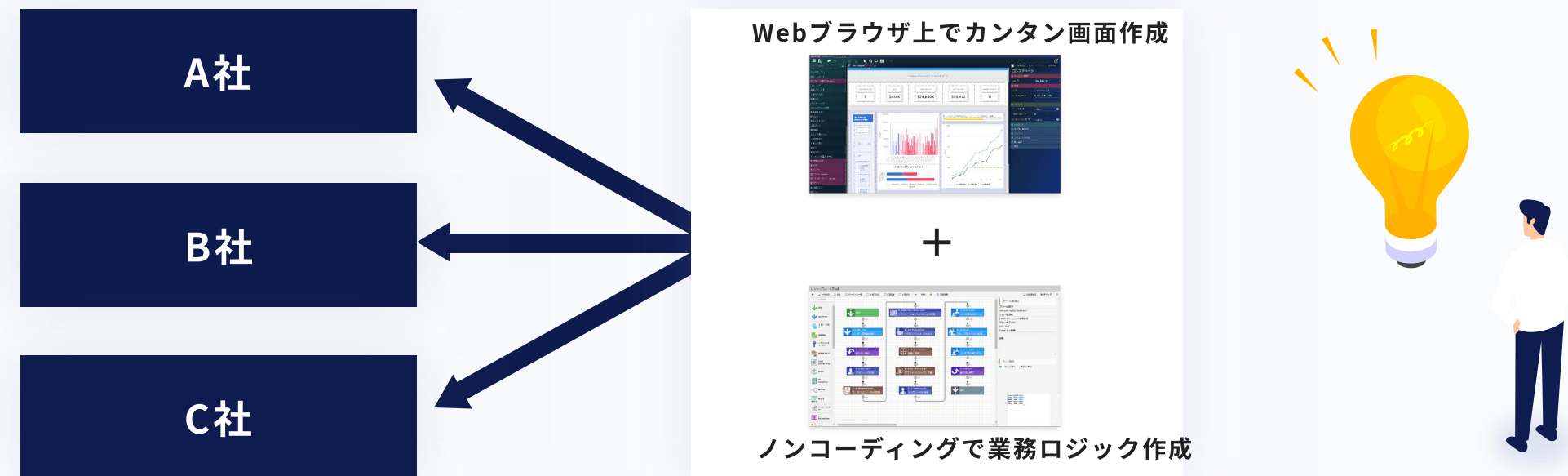
課題2:複数のEDIの利用

企業間の取り決めや運用方法によって使用するEDIが異なるため、商品や取引先が増えるとその分の規格が増えてしまい、利用するシステムや業務アプリケーションが増えて様々な画面から入力作業をしなければならない場合があります。



複数規格のEDIを使用しなくてはならない「多画面問題」が発生する

Accel-Martでは複数規格のEDIを集約した独自の画面を作成することが可能です。



複数規格のEDIのフロントとなる画面を設けることで業務を効率化したい

Accel-Martの画面作成機能と業務ロジック作成機能を活用し、利用中のEDIの規格を変更することく、共通的に利用可能なデータ変換処理を実装した業務アプリケーションの構築が可能になります。

Accel-MartでEDIの課題を解決

クラウド型システム共通基盤「Accel-Mart」は業務に合わせたアプリケーションの開発が可能です。これまでに利用していた業務システムのデザインに合わせた画面が作成可能であり、お客様のIT活用力やITリテラシーに合わせたシステム運用が可能です。

従来のシステム間連携では…

- ・各システムへの連携毎にコーディングが必要
- ・個別のEDI毎に出入力値の調整が必要
- ・リリース後の仕様変更の手間

Accel-Martなら！

- ・画面デザインの再利用が可能
- ・入力値の調整がドラッグ&ドロップで可能
- ・アジャイル型/プロトタイプ型開発が容易に

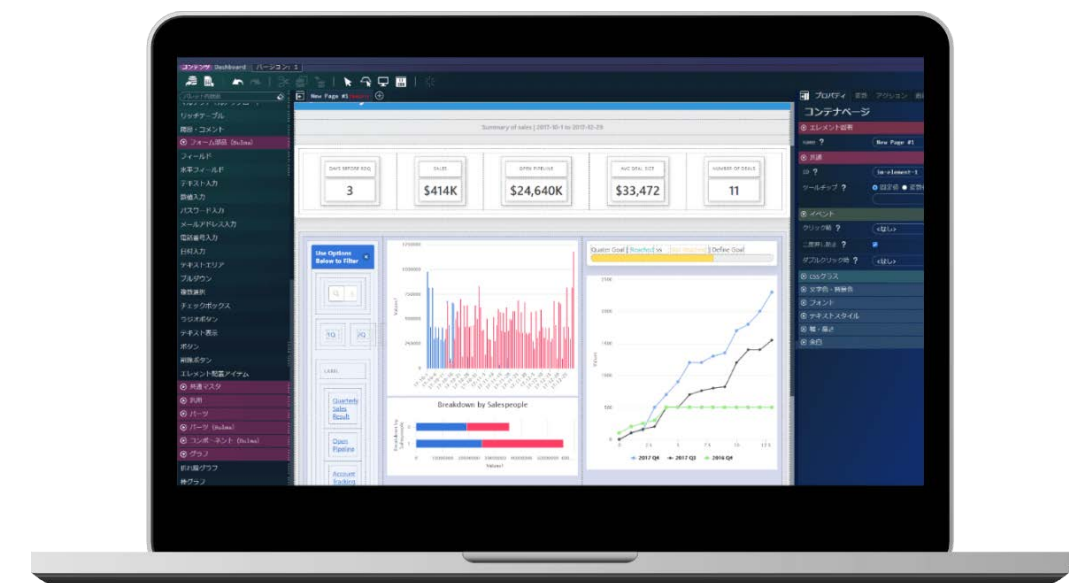
アプリケーション画面を簡単作成

入力フォームやレイアウト設定をはじめとした豊富なコンポーネントがあり、コンポーネントをドラッグ&ドロップで配置するだけで、様々な業務に合わせたアプリケーション画面を誰でも、素早く、簡単に作成できます。



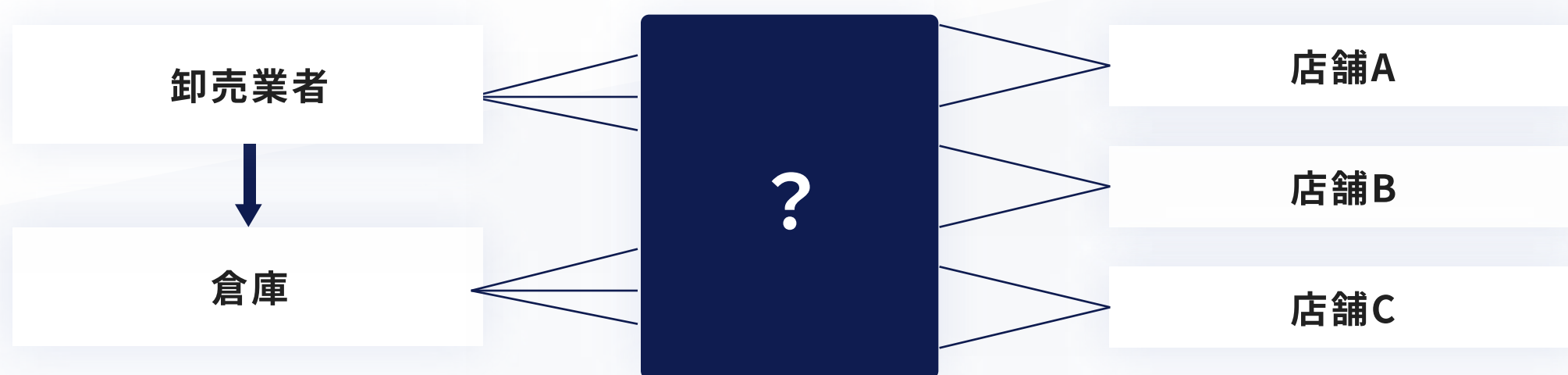
IM-LogicDesignerなどの業務ロジック開発ツールやIM-BIS、IM-BPMのようなintra-mart上の様々な機能や製品と組み合わせることによって、ローコード開発によるビジネスソリューションの構築に寄与します。

BM IM-BloomMaker



課題 3 : 物流リソースの適正配分

物流の配送過程や、作業のプロセスが可視化されておらず、どの業務がコストがかかっているのかが分析出来ていないことがしばしば発生します。これは特に国際物流において顕著な課題となりますが、国際・国内問わずすべてのプロセスを可視化して最適なリソース配分を計画する必要があります。



物流リソースの最適化が図れない

プロセスが可視化されておらず、コストダウンや投資をする計画を策定できません。



納品プロセスの実データを収集して配分を最適化

プロセスを可視化して、プロセス内の業務にかかっているコスト（人的リソースや金額）のデータを収集することで、どの部分に負荷や無駄が多いのかを把握することが可能です。

Accel-Martで物流の見える化

クラウド型システム共通基盤「Accel-Mart」は業務プロセス管理（BPM）システムとしての活用が可能です。業務プロセスを可視化するシステムが構築可能なだけでなく、業務プロセス内の業務処理（データ連携や画面入力処理など）のシステムの構築が可能です。

従来のシステム間連携では…

- ・プロセス記述形式の統一ができない
- ・プロセスのシステム化は別製品で
- ・システム間連携の難易度が高い

Accel-Martなら！

- ・国際標準の記述形式に統一できる
- ・記述からシステム化まで一気通貫に
- ・各種システムとの連携も可能に

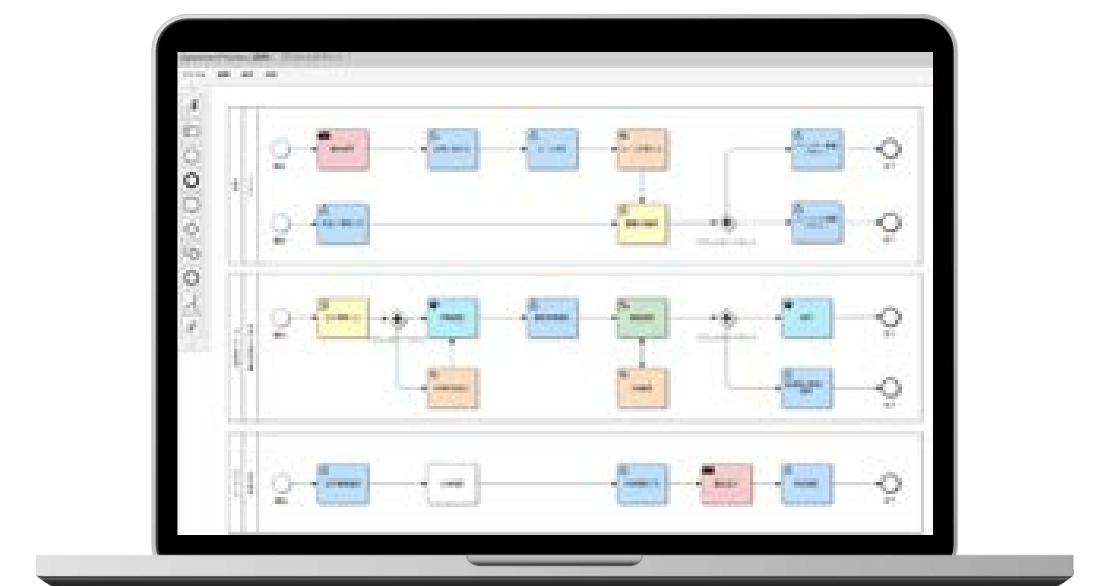
継続的な業務プロセス改善を実現

BPM（Business Process Management）とは、業務プロセスの現状を把握し、変更や改善を行うことで、本来あるべきプロセスに継続的に近づけていくための業務管理手法です。



各部門における業務を洗い出し、プロセスの可視化と定義、実行、モニタリング、改善というサイクルを現場部門が中心となって繰り返し、企業の成長と合わせて柔軟に業務プロセスを継続的にカスタマイズできます。

BPM IM-BPM



導入事例

クラウドサービス「Accel-Mart」を基盤とする
「Web 在庫・出荷状況照会システム」で
リアルタイムな情報提供と問い合わせ業務負担を大幅軽減

NGK NTK
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業



NGKブランドのスパークプラグ、NTKブランドのニューセラミックを二つの柱としてグローバルに事業展開を行っている日本特殊陶業。同社は以前、販売代理店からの在庫や出荷状況の問い合わせに電話とFAXで対応しており、各営業所の担当者の大きな負担となっていた。

また、販売代理店からもリアルタイムな情報の提供を求められていたことから、全社としての業務改革への取り組みに合わせて、システム化を検討。システム共通基盤「intra-mart」のクラウドサービス「Accel-Mart」を基盤として採用することで、「Web在庫・出荷状況照会システム」を構築した。新システムによって、問い合わせの電話がほとんどなくなり、72%もの業務削減が実現、時間にすると月間で350時間もの削減につながっている。

また、在庫に加えて、商品が流通過程のどこにあるのか追跡できるようになるなど、リアルタイムの情報提供が可能となったことで、CS向上にも大きく貢献している。

課題

月間500時間を費やしていた問い合わせ対応の削減を目指す

スパークプラグをはじめ、車載用酸素センサー、超音波振動子の世界シェアトップのメーカーである日本特殊陶業。全世界で事業を展開する同社は、海外売上比率が約8割を占めるが、一方で国内販売を手掛ける国内市販部では、販売代理店からの商品在庫や出荷状況の問い合わせに電話とFAXで対応していた。

自動車営業本部国内市販部企画推進課副主管の佐々木達雄氏は、「販売代理店でもある程度の在庫はストックしていますが、スパークプラグだけで2000以上の品番があり、20年、30年前の車両向けの製品を求められることもあります。中には似通った品番があるので、問い合わせする方も受ける方も区別が難しいことがあります。その問い合わせを、全国の営業所の20名余りの社員が対応していましたが、当社の出荷の締切時間に問い合わせが重なることも頻繁で、本来の業務に影響することもありました。累計すると、月間で約500時間を費やしていました」と振り返る。

また、既にEDI化を行っている販売代理店からもシステム化を求める声が寄せられている一方で、ちょうど2017年より全社として業務改革への本格的な取り組みがスタートし、長時間労働の是正に向けて業務効率化を進めることになった。その一環として、情報システム部とともに、代理店向け「Web在庫・出荷状況照会システム」の構築に向けた検討を開始することになったのである。

導入

将来性を考慮した、使い易く 拡張性の高いシステムを実現

システム化の具体的な検討は2018年にスタートし、NTT データ東海を含む3社から提案を受けた。その結果、同年6月に「intra-mart」のプライベートクラウドサービス「Accel-Mart AWS版」を基盤としたシステム構築を決定した。

情報システム部業務システム課主任の平野裕晃氏は、「3社の提案とも当社の要件を満たしていましたが、コストに加えて、使い易さ、さらに将来性までを考慮し、高い拡張性を持たせた提案がNTTデータ東海様でした」と評価ポイントを語る。

特に、こだわったのはインターフェースで、マニュアルレスで使えるよう配慮した。例えば、在庫表示も単に数値での表示ではなく、「○」「×」「△」にするなど、直感的に理解できるよう工夫している。また、「-（ハイフン）」のある・なしでも品番が異なることから、うろ覚えや、完全一致でなくとも容易に検索できるよう、一部のキーワードだけで候補が表示されるようにした。齟齬の起きないようヒアリングした要望を基にいち早く画面サンプルを提供するなど、NTTデータ東海のきめ細かい対応が、スムーズな構築に一役買ったという。

情報システム部業務システム課課長の藤本正博氏は、「唯一の苦労は、在庫データを『Web在庫・出荷状況照会システム』に取り込む際の基幹システム（SAP）連携でした。Aという一つの品番でも、基幹システムにおいて包装仕様、出荷先、仕向地などで、A/01、A/02、A/03...のように細分化されている上に、個々に莫大な情報が紐づいており、画一的なマスタで営業的に開示したい品番のみを抜き出すことができず、苦労していました。

また、極力大多数を抽出できるマスタを作成し、そこから外れるものに対して、マニュアル排除用のマスタをさらに追加するなど対応していましたが、NTTデータ東海様が苦労しながらも、連携を実現してくれました。NTTデータ東海様と初めての取引きでしたが、構築時だけでなく運用フェーズに入ってからもしっかりフォローしてくれました」と高く評価する。

2018年8月中旬に設計・構築作業を開始して、12月に本番稼働を開始。翌年2月に「Web在庫・出荷状況照会システム」が全面的にカットオーバーした。

サービス概要

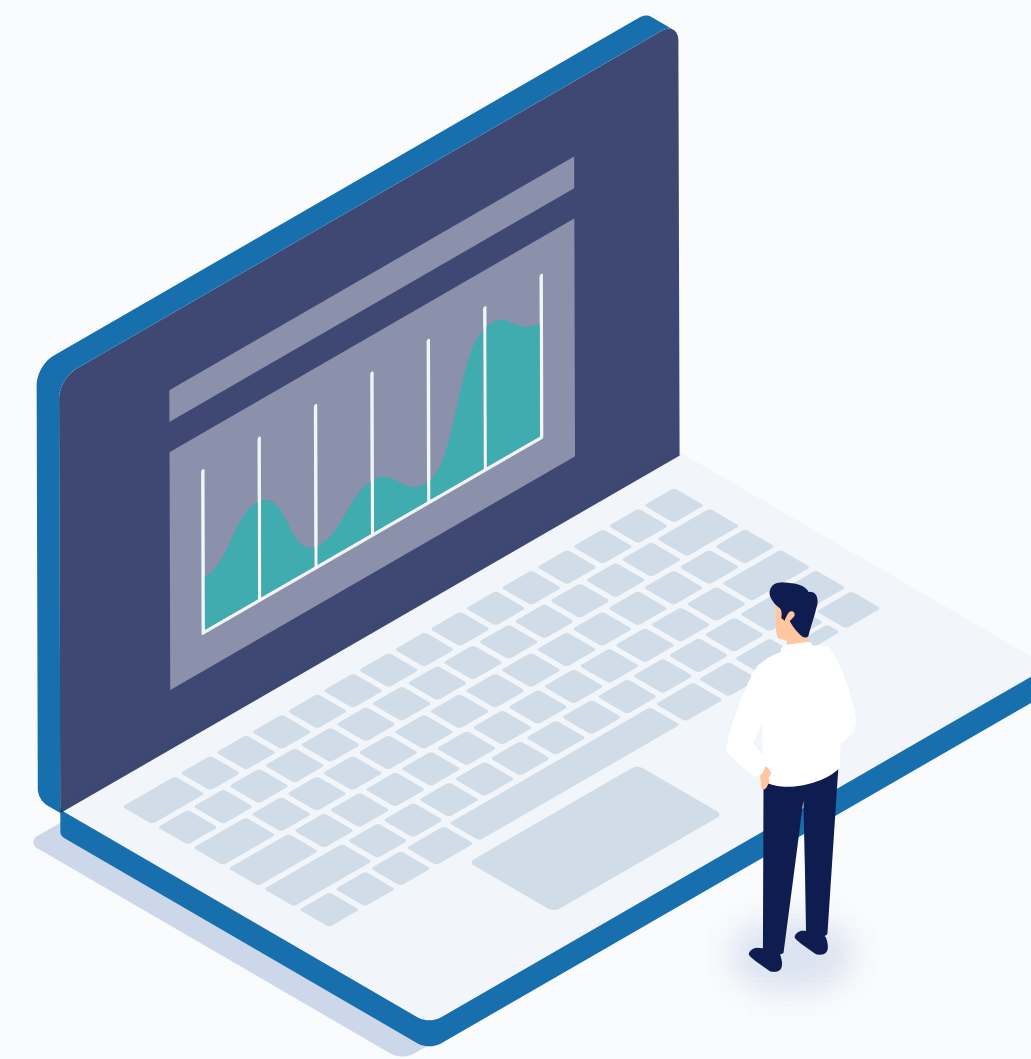
Accel-Martとは

Accel-Martは、プログラミング初心者から上級者まで、業務用アプリを開発できるプライベートクラウドサービスです。

プログラミングの知識がなくても簡単に業務用アプリを開発できる「Quick（クイック）」と、
プログラミング知識のある方向けに業務用アプリに必要な開発環境を充実させた「Plus（プラス）」の2種類をご用意しています。



プロレベルの業務アプリケーションを簡単に構築



すぐに始められる

事前に構築されたテンプレート、ドラッグ＆ドロップでの簡単操作、すばやいデプロイ機能を使用して、今すぐアプリケーションを構築できます。Accel-Mart Quickはお申込みから最短30分でご利用可能です。

アプリを構築する

intra-martのローコード開発を利用して、お客様の業務に合わせた適切なトレーニングにより、現在の業務部門担当者をシステムに精通した専門家に変えることができます。事前に構築されたUIコンポーネントや業務ロジックなど、以前は開発担当者しか活用できなかった高度な機能も利用できます。

開発者による拡張

簡易なフォーム画面から複雑な業務画面まで、プログラミング知識がない方でも開発可能です。intra-martのローコード開発機能ではドラッグ＆ドロップなどの操作で簡単にシステムを構築可能で、業務の変化にも柔軟に対応することができます。

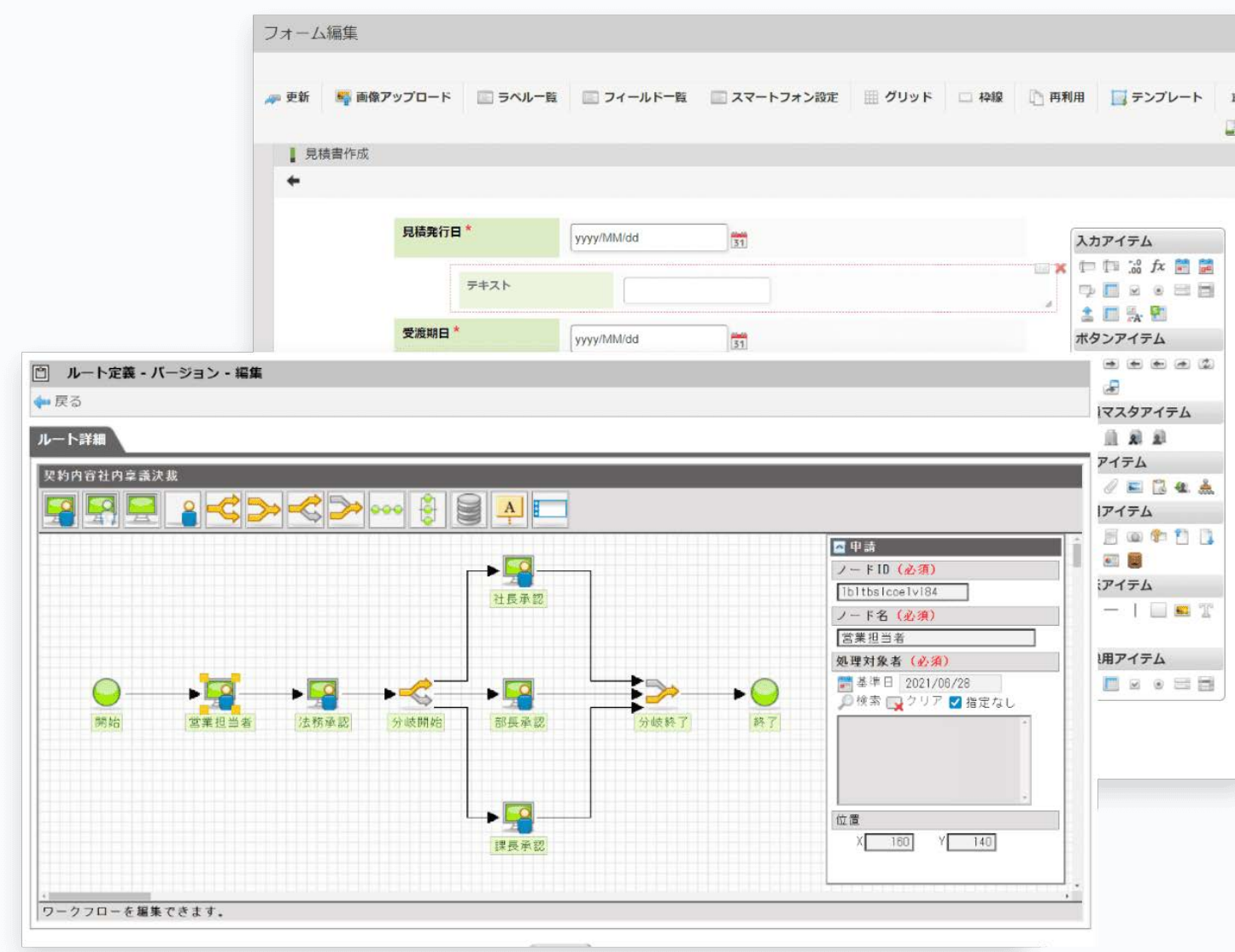
様々な業務パターンをカバーするワークフロー

多彩なテンプレート

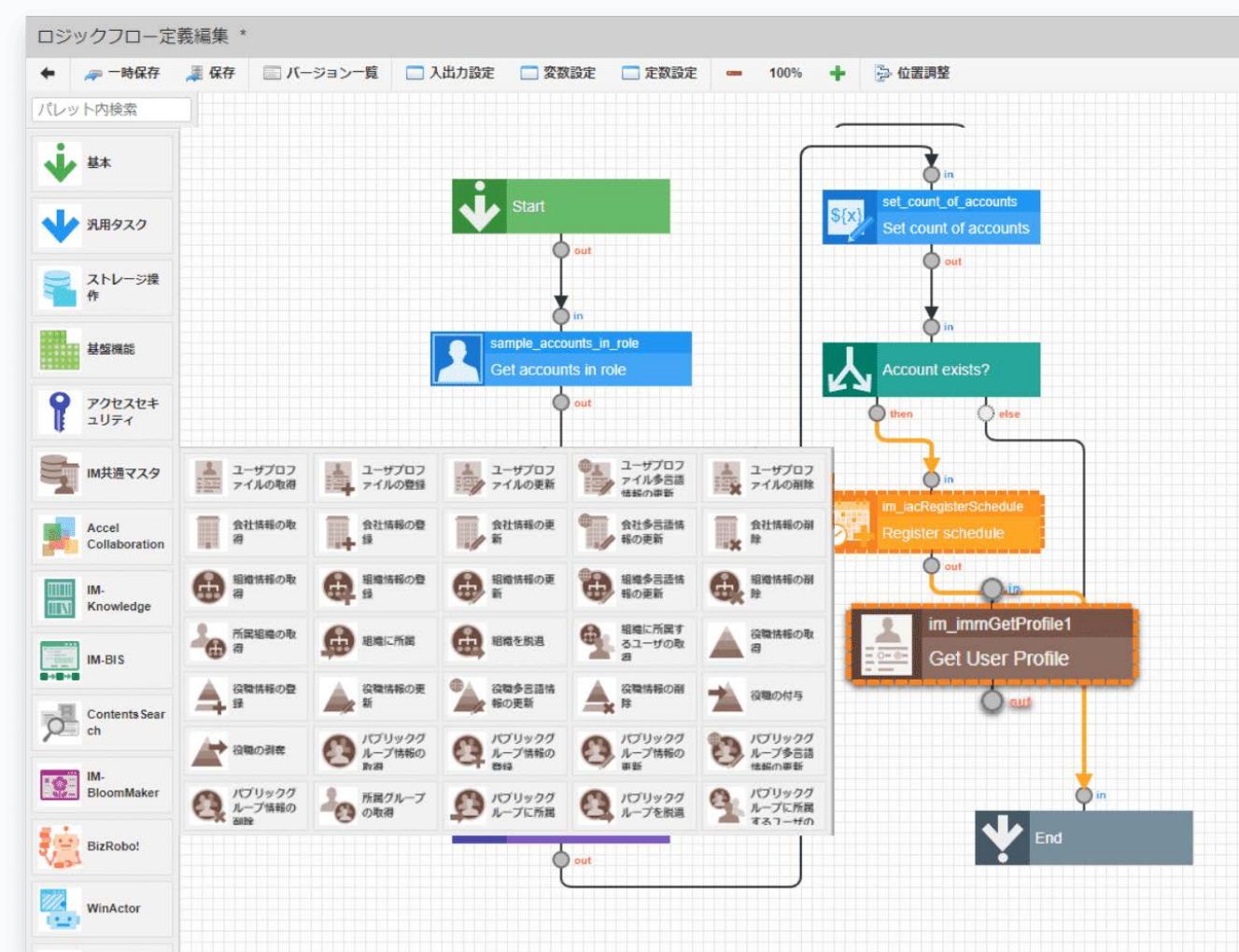
様々な用途に合わせた業界・業種別のワークフローテンプレートを100種類以上ご用意しています。テンプレート以外にも、自社にあった申請・承認画面をノンプログラミングでドラッグ&ドロップで簡単に作成することもできます。

複雑な承認ルートを簡単実現

簡易なワークフロー機能を搭載したプラットフォームはもちろん、他のワークフローシステムでもここまでの自由度はありません。複数部門による申請・承認や条件分岐から別のワークフローへの連携まで、複雑な申請・決裁などの承認ルートも簡単に実現できます。



柔軟につながる、システム連携



柔軟につながる、システム連携

業務プロセスの中には、人や紙によるアナログ作業や複雑な処理も混在しています。イントラマートには、これらの処理を円滑に行うための、AI・RPAなどのデジタル技術や様々な既存システムや他システムと連携を可能とするコンポーネントを準備しています。

取引先を含めた、複雑なオペレーションもシームレスにこなすことができます。

機能一覧

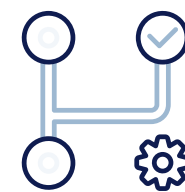
Accel-Martには、豊富な機能が充実。
ローコード開発、BPM/ワークフローなど業務アプリに欠かせない機能をお使いいただけます。



ローコード開発



ワークフロー



BPM



スプレッドシート



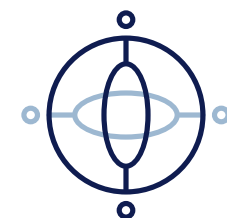
チュートリアル



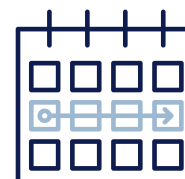
業務テンプレート



社内ポータル



Wiki



スケジュール



会議室予約



社内SNS



他システム連携

インフォメーション

認証・認可

マスタ管理

ドキュメント管理

全文検索

表・グラフ自動作成

人数規模・使用用途で選べる2プラン

利用いただく人数規模や使用したい項目数に応じて柔軟に対応できるように2つのプランを用意しています。



Accel-Mart Quick

Accel-Mart Quickは少数規模からご利用いただけるエントリープランです。
申し込みから最短30分で導入可能です。
プログラミング初心者でも安心してご利用いただけます。

こんな方にオススメです

- ✓ 業務用アプリをコストを抑えて開発したい
- ✓ 業務プロセスのデジタル化・自動化を実現したい
- ✓ なるべく早く業務用アプリを開発したい



Accel-Mart Plus

Accel-Mart Plusは全社規模向けに推奨するプランです。
クラウド上で本格的に開発することができます。

こんな方にオススメです

- ✓ 全社規模で本格的に業務システムを開発・利用したい
- ✓ システム構築にかかっていた時間/コストをカットしたい
- ✓ 全社レベルでの大規模な業務改善から改革をしたい

料金・プランの詳細は下記をご参照ください。

<https://www.accel-mart.com/price.html>

Accel-Mart Quick 導入の流れ

01

試用

31日間すべての機能を無料でお試しいただけます。

02

本登録

トライアル版終了後、本登録が完了すると有償でのご利用開始となります。

03

開通

トライアル版のデータを引き継ぐことも、新規で環境を用意することもできます。

04

運用拡大

サービス導入効果を最大化し、成功に導くためのカスタマーサクセスをご用意しています。

31日間の無料お試し実施中

https://admin.quick.accel-mart.com/imart/accel_mart_quick_admin/entry

Accel-Mart Plus 導入の流れ

01

お問い合わせ

まずはお気軽にお問い合わせください。お客様の課題をヒアリングさせていただきます。

02

お見積り・ご発注

担当営業よりお客様にあったプランをご紹介します。

03

利用開始

お申し込み日より最短5営業日で、すぐに使える環境をご提供します。

04

お支払い・お振り込み

月額支払と開始月一括払いのどちらかを選択していただきます。

お気軽にお問い合わせください！

<https://www.accel-mart.com/contact/>



まずはお気軽にお問い合わせください。

弊社担当がお客様にあったプランをご紹介します。

<https://www.accel-mart.com/contact/>

31日間の無料お試し実施中

<https://www.accel-mart.com/trial/>